第６学年「只見町の未来を考えよう」ＥＳＤストーリーマップ

＜学習テーマ＞　海辺の地域から学んだことをもとに，只見町の未来について考え，できることを実行しよう。

４　月　｜　５　月　｜　６　月　｜　７　月　｜　８　月　｜　９　月

土台となる資質・能力		新学習指導要領における育成すべき資質・能力
提案したり伝えたりする姿（プレゼンテーション力）	㋐	実践力（培った力を発揮）
自分の考えを持ち，交流し合う姿（コミュニケーション力）	㋑	
話し合いを通じて自分の考えを高める力（コラボレーション力）	㋒	
協力して社会づくりに参画する力	協	
問題を発見する力・解決する力	問	思考力（中核となる資質・能力）
論理的・批判的に考える力	論	
異なる考えを統合して考えを導き出したり新しいアイディアを生み出したりする力（イノベーション力）	㋑	
学びを振り返り自己をみつめる力（メタ認知力）	㋥	
振り返りから次に学ぶべきことを探す適応的学習能力	適	
基礎的・基本的な知識・技能（言語スキル・数量スキル）	基	基礎力（思考力を支えるベース）
ICT スキル　情報リテラシー（情報スキル）	情	

≪国語≫「私たちにできること」㋑㋑

- 筋道の通った文章になるように，文章全体の構成や展開を考えながら，提案する文章を書く。
- 集めた材料を関係付けたり，書き表し方を工夫したりして，自分の考えを明確に伝える。

≪なかよし活動≫基

- 只見の川に親しみ，めぐみを実感する。川の様子や川に住む生き物について知る。

≪国語≫「利用案内を読もう」㋑

- 目的に応じて，必要な情報を見つける。

≪社会≫「震災復興の願いを実現する政治」問㋑

- 東日本大震災直後の，市や県，国の取組について資料から読み取り，相互に協力し合っていることについて考える。

≪国語≫「情報と情報をつなげて伝えるとき」情

- 情報と情報との関係付けのしかた，図などによる語句と語句との関係の表し方を理解する。

○　海と川，山は繋がっていることを思い出し，海辺の地域の良いところと抱える課題について調べる。（海洋交流学習）問㋑

＜海辺の地域の交通アクセス＞
- 海辺の地域では，バスを多く利用しているみたいだね。
- 船を使った移動も活用しているみたいだよ。

＜海辺の地域の PR＞
- 海辺の地域の人は，海に対して誇りをもって生きている。
- 海辺の地域の人たちは，山のことを素晴らしいと言ってくれている。やはり只見町の豊かな自然は素晴らしいものなんだね。

＜海辺の地域の災害対策と復興＞
- あんな遠く，こんな高さまで津波の被害があったなんて。多くの建物や人々が流されてしまったということが想像できないよ。
- 災害の怖さを伝えるための活動や自然災害の被害を最小限に抑える対策などといろいろ考えているんだね。

＜海辺の地域のまちづくり＞
- 海って楽しいね。海辺で生活する人は，海のよさを実感し，海からの恩恵を受けて生活しているんだね。
- 災害から身を守るためには，地域コミュニティーや地域の施設が重要だと分かったよ。只見町のまちづくりにも生かせないかな。

≪社会≫「国の政治のしくみと選挙」論㋑

- 日本国民として，地域社会の一員として，政治のかかわり方について多角的に考える。

○　只見町の良いところと抱える課題について調べる。㋑㋑

＜只見町の交通アクセス＞
- バスや電車によるアクセス方法があるんだね。
- 融雪剤の活用の仕方や，道路の修復方法を詳しく知ることができたよ。

＜只見町の PR＞
- やっぱり只見町は自然や雪を PR して，観光客にアピールしているんだね。私たちにもできることは何かないかな。

＜只見町の災害対策と復興＞
- 災害があったときは防災無線で知らせて，避難所を開設しているみたいだね。

＜只見町のまちづくり＞
- 大きな店は収入を見込めることが前提で個人が経営するということがわかったよ。
- 人口が減ってきているみたいだね。只見町のまちづくりの指針を知ることができたよ。

○　自分たちが考える只見町の良いところと，課題について話し合う。問

- 今までは，只見の川が豊かなことを学んできたね。自然との共生がユネスコエコパークの考えだったね。
- 只見町の良いところってどんなところだろう。
- 水がきれいで，自然豊かなところだよ。水は，養分が含まれている豊かな水だったね。その水を使って農業を営んでいたね。
- いいところばかりではなく，不便なところもあるよ。
- 只見町の課題ってなんだろう。
- 人口が減ってきているよ。
- お店がなくて不便だよ。

課題設定１
只見町の良さと，抱える問題はなんだったかな。

課題追究１
只見町の良さや，抱える問題を再確認しよう。

課題追究２
山・川・海が繋がっていることから，海辺で生活している人達の良さや抱える問題について調べよう。

≪国語≫「聞いて，考えを深めよう」論㋑

- 話し手の考えと比較しながら，自分の考えをまとめる。

≪道徳≫
「小川笙船」「マザー・テレサ」㋥

- 人間がもつ強さや気高さに気付き，よりよく生きようとする。

「古きよき心」㋥

- 伝統や文化を尊重し，さらに発展させていこうとする態度を養う。

≪学級活動≫
「放射線と私たちの生活」
「只見町の水害と，私たちができることを考える」基㋥

- 放射線や水害などについて理解すし，自分たちの生活とつなげて考える。

≪道徳≫
「帰ってきたクニマス」㋒

- 自然環境を進んで大切にしようとする態度を養う。

海洋教育との関連	
陸の豊かさとの関連	
気候変動との関連	

第６学年「只見町の未来を考えよう」ＥＳＤストーリーマップ

１０月	１１月	１２月	１　月	２　月	３　月

土台となる資質・能力		新学習指導要領における育成すべき資質・能力
提案したり伝えたりする姿（プレゼンテーション力）	㋐	実践力（培った力を発揮）
自分の考えを持ち，交流し合う姿（コミュニケーション力）	㋑	
話し合いを通じて自分の考えを高める力（コラボレーション力）	㋒	
協力して社会づくりに参画する力	協	
問題を発見する力・解決する力	問	思考力（中核となる資質・能力）
論理的・批判的に考える力	論	
異なる考えを統合して考えを導き出したり新しいアイディアを生み出したりする力（イノベーション力）	㋑	
学びを振り返り自己をみつめる力（メタ認知力）	㋝	
振り返りから次に学ぶべきことを探す適応的学習能力	適	
基礎的・基本的な知識・技能（言語スキル・数量スキル）	基	基礎力（思考力を支えるベース）
ICT スキル　情報リテラシー（情報スキル）	情	

≪理科≫
「大地のつくりと変化」㊟
・　日本は島国であることで大地のつくりが変化しやすい環境にあることを理解する。

≪算数≫「データの特ちょうを調べて判断しよう」㊟�情
・　代表値の意味や求め方，度数分布表や柱状グラフ，統計多岐な問題解決の方法について理解する。

≪理科≫
「地球にいきる」㋝
・　人の生活と環境との関わりについて学んだことを学習や生活に生かす。

≪学習発表会≫㋐
・　学習の成果を披露する活動を通し，表現力を高める。

まとめ・ふり返り
調べたことをまとめよう。

課題設定２
海辺の地域と比較し，只見町の未来について話し合おう。

課題追究３
よりよい只見町の未来について考え，提案しよう。

課題追究４
只見町と環境問題・海洋の問題について考えよう。

まとめ・発信
只見町の未来を考えて発信をしよう。

＜目指す児童像＞
環境問題や海洋の問題の解決が，只見の環境を守ることにもつながっていくことに気付くことができる児童。
持続可能な只見町にするために，町の豊かさを支えている観光や産業との関係に目を向け，その課題を知り，自分たちにできることを考え行動できる児童。

○　海洋交流学習から学んだことをまとめ，課題設定２に繋げる。㋝㋒
・　南相馬市の人の話を聞くことができたよ。
・　海辺の地域の良さや問題点は，只見町の良さや問題点と似ているのかな。

○　只見町の未来を考えるために，海辺の地域と只見町の良さや課題の共通点や相違点について話し合う。㋒
＜共通点＞
・　地域の人たちが協力していることは同じだね。
・　地域の良さを生かした産業が盛んだね。
・　環境の変化が産業にも影響をあたえているみたいだね。
＜相違点＞
・　地域コミュニティーをより大切にしているよ。
・　海に面しているため，津波災害の恐れがあるって聞いたよ。

○　調べたことや話し合ったことをもとに，グループごとに追究し，只見町の未来に向けての提案を考える。㊟㋑
＜交通アクセス＞
・　関東地方と結ぶ道路を作ってもらえば，たくさんの人に只見の良さを知ってもらえるよ。
・　道路を作るということは，自然を壊すことにつながるんじゃないかな。
＜地域の PR＞
・　只見といったら，自然や雪だよ。昨年，降雪量が少なかった理由を調べてみたよ。
・　只見のおいしい食べ物や，雪祭り，ブナ林について多くの人に知ってもらうために，パンフレットや CM を作ってみたいな。
＜災害対策と復興＞
・　津波の被害の様子と只見町の豪雨災害の様子を比べて表そう。雨量が多くなっている原因は，環境問題と関わりがありそうだ。
＜まちづくり＞
・　只見町は，ユネスコエコパークだね。自然と共存していくためには，何もしないことが一番いいのではないかな。
・　子供や若い人が楽しめる施設やイベントがないと，住む人がいなくなるんじゃないかな。
＜４つのグループの提案を受けて＞
・　ぼくはやっぱり便利な生活がしたい。道路やお店を作るべきだ。
・　私は只見の自然を守りたい。自然を生かしたまちづくりをすべき。

○　只見町の未来について考えたことを提案し，具体的に行動する。㊟㋐㊝
・　只見町のよさを伝えていくことが，まちづくりをするのに大切だと思うよ。
・　グループごとに考えたことをポスターにまとめて，役場の人に提案してみよう。
・　只見町を持続・発展させるためにできることを CM にして，テレビで放送してもらおう。

○　只見町の未来と環境問題や海洋の問題について考える。㋒㋑
・　只見町の未来を考えていくと，地球規模で起きている環境問題や海洋の問題を避けて通ることはできないね。
・　地球環境を守るために私たちにできることはないかな。
・　只見町を持続・発展させるために只見中学校が行っているエコバッグ作りは環境問題や海洋の問題の解決に繋がりそうだね。

≪総合≫
「只見の四季を実感しよう（雪祭り雪像作り）」㊝
・　雪像作りを通して，雪のよさを生かした催しに関わる。
・　「只見ふるさとの雪祭り」の場を生かして，学習の発信を行う。

≪修学旅行≫㊟
・　海を感じたり，東日本大震災の時の話を聞いたりする。

≪国語≫
「みんなで楽しく過ごすために」㊝㋝
・　互いの立場や意図を明確にしながら計画的に話し合い，考えを広げたりまとめたりする。

≪書写≫
「発表のためのポスターを書こう」㊟
・　既習の文字の整え方を理解し，文字を書く場面で生かす。

≪国語≫「大切にしたい言葉」㋑㊟
・　目的や意図に応じて簡単に書いたり，詳しく書いたりする。
・　事実と感想，意見とを区別して書く。

≪国語≫
「メディアと人間社会」「大切な人と深くつながるために㋑
・　文章を読んで理解したことに基づいて，自分の考えをまとめる。
・　文章を読んでまとめた意見や感想を共有し，自分の考えを広げる。

≪道徳≫
「米作りがアフリカを救う」㊟㋝
・　他国の人々や文化について理解し，日本人としての自覚をもって国際親善に努めることへの意欲を高める。

≪道徳≫
「栄光の架け橋」㋝
・　高い目標をもってその達成に取り組んでいる人を参考にして，自分自身も高い目標をもち努力し続けていこうとする意欲を高める。